

ふくい宇宙産業創出研究会 公開セミナー 開催のお知らせ
～ 超小型衛星コンステレーション時代の最前線動向 ～

福井県では、今後大きな成長が期待される宇宙産業へのものづくり企業の参入を支援するため、「ふくい宇宙産業創出研究会」を設立し、産業化への最新情報の提供や、先端部材研究などを行っています。
この度、下記の通り公開セミナーを開催しますので、ご案内申し上げます。

◆日時：令和4年12月2日（金） 13:30～17:15 （受付 13:00～）

◆場所：福井県工業技術センター 講堂およびオンライン

◆プログラム

1 セミナー『超小型衛星コンステレーション時代の最前線動向』

(1)『人類の Edge に挑戦するアークエッジ・スペースの将来戦略』（13:35～14:35）

(株)アークエッジ・スペース 代表取締役 福代 孝良 氏

(2)『学術から産業へ、超小型衛星用推進機の実用化と社会実装』（14:35～15:05）

(株)Pale Blue 共同創業者 兼 代表取締役 浅川 純 氏

(3)『宇宙を活用したビジネスアイデアコンテスト S-Booster について』（15:15～15:45）

内閣府宇宙開発戦略推進事務局・技術参与 白石 祐嗣 氏

2 ふくい宇宙産業創出研究会会議

- ・研究会会員企業からの情報提供
- ・研究会活動事務局報告

◆主催：ふくい宇宙産業創出研究会

◆参加：無料

<問い合わせ・申し込み先>

【メール、FAXでの申し込み】 締め切り 11月30日（水）

〔公財〕ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室 松井、岸本

TEL：0776-55-0664 FAX：0776-55-1554 E-Mail：foip@fisc.jp

【WEBでの申込み】 <http://www.fklab.fukui.fukui.jp/kougi/foip/sp/smad51.html>

ふくいオープンイノベーション推進機構への入会を兼ねます。☆既に入会済みのかたは、☆欄のみご記入ください。

企業・団体名☆		登録種別	法人・個人 どちらか○をつけてください
		業種	
代 表 者	役職： 氏名：	電話	
住 所	〒	FAX	
参 加 者☆	所属・役職 氏名	オンライン参加を <input type="checkbox"/> 希望する 右記アドレスに招待メールを送信します。(ZOOM)	
	電話： メールアドレス：		

ふくい宇宙産業創出研究会 2022 年第一回研究会 セミナー「超小型衛星コンステレーション時代の最前線動向」

ふくい宇宙産業創出研究会では、宇宙ビジネスに関わる中小ベンチャー企業から大企業までのキーパーソンや大学、専門機関などの研究者を福井に招き、宇宙ビジネスや先端技術動向についての情報を提供するほか、高度技術研修なども実施しています。

(株)アークエッジ・スペース社（旧：(株)スペースエッジ・ラボ）は、超小型人工衛星・地上局・関連部品の設計・製作と運用サービス・ソフトウェア開発から教育・コンサルティング事業までを幅広く手掛け、これまでルワンダ公共事業規制庁（RURA）向け超小型人工衛星 RWASAT-1 の開発運用を行ったほか、令和元年以降は、経済産業省の産業技術実用化開発事業費補助金（宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業）に採択され、推進機やハイパースペクトルカメラなどを搭載したマルチミッション衛星「OPTIMAL-1」の開発を継続しており、令和4年6月にはJAXA への引き渡しを完了させています。同社は超小型人工衛星を活用し、IoT・海洋通信のインフラとして低軌道コンステレーションを構築することに加え、深宇宙探査にも積極的に取り組んでいます。

今回のセミナーでは、(株)アークエッジ・スペースの福代孝良代表取締役より、同社の事業概要と分野横断的な将来戦略についてご講演して頂きます。また、(株)Pale Blue の浅川代表取締役より超小型衛星用推進機の実用化と産業応用戦略についてご講演して頂きます。さらに、内閣府宇宙開発戦略推進事務局より、宇宙を活用したビジネスアイデアコンテスト S-Booster の現状について話題提供いただきます。このほか、福井県の宇宙産業拠点化計画として、宇宙産業ビジネス化支援事業に関する取り組み報告などをご紹介のほか、会員相互の情報交換に注力していく予定です。

これらの情報提供により、宇宙産業を理解し本県宇宙産業への参入を支援しますので、本セミナーへのご参加をお待ちしております。



OPTIMAL-1 と引き渡し時状況

(写真提供: Space BD)

講師ご紹介

☆人類の Edge に挑戦するアークエッジ・スペースの将来戦略

福代孝良（ふくよ たかよし）

株式会社アークエッジ・スペース 代表取締役

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程単位取得満期退学。外務省在リオデジャネイロ総領事、内閣府宇宙戦略室、外務省中南米局南米課外務事務官などを歴任する傍ら、JICA（独法国際協力機構）調査団団長などでタイ国、トルコ、インドネシアに対し衛星測位、宇宙・地理空間情報、海洋管理など衛星データ共有や標準化サービスの推進可能性を提案し国際的キャパシティビルディングを推進。現在、東京大学空間情報科学研究センター特任准教授、株式会社マキノハラボ代表取締役、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構技術参与を兼務。(株)アークエッジ・スペース代表を務める。



(株)アークエッジ・スペース 福代氏

☆学術から産業へ、超小型衛星用推進機の実用化と社会実装

浅川 純（あさかわ じゅん） 博士（工学）

株式会社 Pale Blue 共同創業者 兼 代表取締役



(株)Pale Blue 浅川氏

1991 年生まれ。高知県出身。2014 年東京大学工学部卒。2016 年同大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻修士課程修了。2019 年同博士課程修了。博士（工学）。東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任助教として従事した後、2020 年 4 月に株式会社 Pale Blue を創業し代表取締役に就任。宇宙推進工学を専門とし、世界初の小型深宇宙探査機 PROCYON や、水推進機実証衛星 AQT-D、超小型深宇宙探査機 EQUULEUS 等、数々の小型衛星・探査機プロジェクトに従事。東京大学総長賞や日本航空宇宙学会 優秀発表賞、MIT テクノロジーレビュー「Innovators Under 35 Japan 2020」、国際電気推進学会最優秀論文賞等を受賞。水を推進剤として用いた小型衛星用推進機を社会実装することで、宇宙空間における新たなモビリティインフラの構築を目指す。

以 上